

第1回定例会の主な日程

平成28年第1回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月26日(金) **本会議**
(開会、知事提出議案説明)
- 3月2日(水) } **本会議**
3日(木) } (代表質問・質疑)
- 3月4日(金) } **本会議**
7日(月) } (一般質問・質疑)
8日(火) }
9日(水) }
- 3月14日(月) } **常任委員会**
15日(火) }
- 3月17日(木) **本会議**
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月18日(金) } **予算特別委員会**
22日(火) }
- 3月24日(木) **本会議**
(委員長報告、採決、閉会)

代表質問※(要旨)



常井 洋治 議員
いばらき自民党
笠間市選出
一括方式

子育てしやすい県を目指した
少子化対策の充実

議員 地方創生の総合戦略に合
計特殊出生率の増加が掲げられ
ている。夫婦の子どもの数の減
少理由に子育ての経済的負担が
挙げられるが、さらなる軽減に
より、子育てしやすい茨城をア
ピールし、出生数の増や若い世
代の定住と流入を図るべきだが、

知事 平成二十八年度から、小
児・妊産婦を対象に医療費助成
制度の所得制限を大幅に緩和す
るとともに、第三子以降の保育
料の無料化要件を緩和する。今
後新たに設置する「子ども政策
局」を中心に、子育て家庭への
さらなる負担軽減策をはじめと
する少子化対策に取り組み、若
い世代の定住と流入につなげる。

がん対策の実践
議員 診療※意識の醸成と検診

推進を主眼としたがん条例が施
行され、がん対策は県民総ぐる
みで実践する時を迎えた。県民
の「条例で対策はこうも変わっ
た」という実感がその大きな一
歩となる。態勢と施策展開は、

知事 がん対策推進室の新設や
二十億円のがん対策基金の設置
などにより、対策を総合的・安
定的に推進する。がん検診推進
強化月間を設けるとともに、市
町村などと一体となった検診受
診率の向上施策、がん医療の充
実、がん患者が最先端の治療を
受けられる環境の整備などに取
り組む。がん罹患者にも安心
して暮らせる社会の構築を目指す。

県立中央病院の全面建て替え
議員 中央病院の狭隘化は、極
めて深刻である。県は、手術室
の増築を計画するが、災害への
対応や経費の問題、使い勝手な
どを総合的に考慮すれば、免震
構造を備えた全面建て替えの構
想を打ち立てるべきである。早
期の検討を求めるが、所見は、

知事 地域医療構想を踏まえた
中央病院の将来像や周辺の用地

の状況など流動的で不確定な要
素が多い一方、診療機能の強化
や医師養成、教育機能の充実
は待ったなしの課題である。これ
らを総合的に判断すると、既存
の施設を最大限に活用しながら
、当面の需要に応える新棟を、免
震構造を備えた形で整備してい
くことが最善の方法と考える。

常陽銀行と足利HDとの経営統合を
契機とした新たな経済圏づくり
議員 常陽銀行と足利HDとの
経営統合により、地域産業は大
きな転換期を迎える。これを契
機に、栃木県とのさらなる連携
強化の下、企業誘致や輸出の拡
大、観光戦略など北関東三県経
済圏を見据えた新たな経済圏を
基盤とした産業展開が必要だが、

知事 統合を機に商談会などで
の取引拡大、企業誘致面での広
域な情報収集、海外ミッション
派遣参加企業の増加などが期待
される。農業分野の輸出促進に
広域連携を取り組むほか二十八
年度は北関東三県のアンテナ
ショップをベトナムに設置する。
観光面でも広域観光ルートの形
成などを三県合同で実施する。

新しい時代に対応した学校づくり



中学校の部活動における外部指導者の指導の様子

議員 急激な時代の変化に対応
するべく、チームとしての学校
づくりが議論されている。多忙
さが問題視される教員の負担軽
減を図り、生徒としっかりと向
き合える環境を整えることや強
固で責任ある体制を構築するこ
とが課題と考えるが、対応は、

教育長 平成二十八年度は、ス

● 質問者

3月2日(水) 常井 洋治 (いばらき自民党)

3月3日(木) 白井 平八郎 (自民県政クラブ)

長谷川 修平 (民進党※)

井手 義弘 (公明党)

● 国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会

平成三十一年に本県で開催される「国民体育大会」は、国内最大級のスポーツの祭典であり、本県スポーツの普及や振興、さらには文化の発展に大きく貢献する大会です。

また、国体に併せて開催される「全国障害者スポーツ大会」は、障害者の方がスポーツの楽しさを実感するとともに、障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することが期待され、これら両大会の成功に向け、県の総力を挙げて臨む必要があります。

さらに、その翌年には「東京オリンピック・パラリンピック」など、本県に関連する大規模なスポーツイベントが立て続けに開催される予定でありますので、これらの機会を効果的に活用し、いばらきの魅力発信を推進するとともに、スポーツ文化、観光、産業などの振興、地域の活性化につなげていくことが重要です。

そこで、県議会として、茨城国体・全国障害者スポーツ大会の推進、および、これらを活用した地域づくりなどに関する諸方策について調査・検討を行うため、「国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会」を三月二十四日の本会議で設置しました。委員構成は十五名で、次の通りです。

委員長	海野 透	委員	下路 健次郎
副委員長	石井 邦一	委員	星田 弘司
委員	桜井 富夫	委員	田口 伸一
委員	田山 東湖	委員	高橋 勝則
委員	白田 信夫	委員	江田 隆記
委員	山岡 恒夫	委員	長谷川 修平
委員	萩原 勇	委員	高崎 進
委員	加藤 明良		

新しい時代に対応した学校づくり

議員 急激な時代の変化に対応するべく、チームとしての学校づくりが議論されている。多忙さが問題視される教員の負担軽減を図り、生徒としっかりと向き合える環境を整えることや強固で責任ある体制を構築することが課題と考えるが、対応は、

教育長 平成二十八年度は、ス

クールカウンスラーなどの配置・派遣を大幅に拡充する。特に、教員多忙化の要因である部活動については、新たな指導体制の構築に取り組む。関係者の役割と責任の所在を明確にする一方、教員の人的魅力を十分に生かした指導ができるよう、引き続き、資質の向上を図る。(ほかに、関東・東北豪雨を踏まえた総点検と危機対応レベルの向上、茨城農業の政策展開、国際テロへの対応なども質問)

質問方式について

平成二十四年第一回定例会から分割方式が導入され、議員は次のいずれかの質問方式を選択できるようになっております。

- 一括方式
質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求めめる方式。
- 分割方式
質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める方式。

【ことば】 ※【代表質問】 …会派を代表して行う質問を代表質問といいます。茨城県議会の場合には、4人以上の会派が代表質問を行うことができます。なお、議員個人の立場で行う質問を一般質問といいます。
※【診療】 …がんに関する正しい知識を習得し、提供されるがん医療を決定できることについて自覚を持って、がん医療に主体的に参画すること。
※【民進党】 …平成28年3月28日に民主党から変更になりました。